

令和3年第8回沖縄県教育委員会会議（定例会）議事録

1 開会及び閉会に関する事項

令和3年7月29日 午後3時開会

午後4時35分閉会

2 出席者及び欠席委員の氏名

(1) 出席者

教育長 金城 弘昌 委 員 照屋 尚子 委 員 上原 勝晴
委 員 山里 清 委 員 藏根 美智子 委 員 小濱 守安

(2) 欠席委員

なし

3 説明のため会議に出席した職員の職氏名

教育管理統括監	佐次田 薫	教育指導統括監	半嶺 満
参 事	山城 英昭	参 事	宇江城 詮
参事兼総務課長	屋宜 宣秀	教育支援課長	大城 勇人
学校人事課長	安里 克也	県立学校教育課長	玉城 学
義務教育課長	目取真 康司	保健体育課長	城間 敏生
文化財課長	諸見 友重	学校人事課小中学校人事管理監	伊波 寛仁

4 議事関係

(1) 開会

金城教育長が開会を宣告した。

(2) 非公開の決定及び議事日程の決定

議案第3号から第5号までは人事に関する案件であることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第14条第7項の規定により非公開とすることが全会一致で決定された。また、議事日程は会議資料記載の日程案のとおりとすることが決定された。

(3) 令和3年第7回議事録の承認

学校人事課長から令和3年第7回沖縄県教育委員会会議における発言内容について、訂正の申出（令和3年第7回議事録、5ページ6行目～8行目）があったため、議事録の承認は次回の会議で行うこととなった。

(4) 議事録署名人の指名

金城教育長が、小濱委員を議事録署名人に指名した。

(5) 報告事項

報告事項 1 教育委員会の権限事務に係る教育長の臨時代理（沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例施行規則の一部を改正する規則）

【説明（教育支援課長）】

資料に基づき、教育委員会の権限事務に係る教育長の臨時代理（沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例施行規則の一部を改正する規則）について報告を行った。

【質疑等】

○ 質問なし

報告事項 2 令和 4 年度沖縄県立高等学校入学定員について

【説明（県立学校教育課長）】

資料に基づき、令和 4 年度沖縄県立高等学校入学定員について報告を行った。

【質疑等】

- 山里委員 2 の入学定員の概要について、「広域通信制への進学者等を考慮」と記載されていますが、中学校にアンケートや調査等を行ったのでしょうか。
- 県立学校教育課長 昨年度もそうでしたが、今年 3 月に行われた入試の状況をみると、私達が想定した以上に受験定員に空きが生じたので、全中学校の進学状況を調査しました。その結果、予想以上に広域通信制に進学している生徒がいるという調査結果が出ましたので、資料の 2 に記載しているように広域通信制の進学者数も考慮する必要があると判断しました。全ての中学校から回答があったわけではありませんが、全 138 校中 123 校で全卒業者の 93.7% の回答であり、この調査によると中学生の広域通信制への進学者数は 519 名となっております。地区別でみると、国頭地区が 38 名、中頭地区が 188 名、那覇地区が 154 名、島尻地区が 114 名、久米島地区が 2 名、宮古地区が 12 名、八重山地区が 11 名となっており、特に中南部地区の中学生が広域通信制に進学している状況があり、中南部地区の普通科の定員を減じたところです。
- 山里委員 ここ数年、広域通信制に進学する生徒が増えています。以前は高校中退した生徒達が入学するケースがほとんどだったと認識していますが、最近は広域通信制を第一希望として進学する生徒が増えてきているということですか。
- 県立学校教育課長 山里委員が言われたとおり、これまでは県立学校に進学した後に広域通信制に転学するというケースが多かったのですが、今回の調査結果から積極的に広域通信制を選択して進学する生徒達がいるということがわかってきました。県内の広域通信制の学校は様々な団体が運営しており、本部が内地にある学校も県内にある学校もあります。広域通信制の数が増えてくることによって、スポーツを特色とする学校やコンピューターを特色とする学校、あるいは登校日数も選ぶことができ、選択肢の幅が増えてきたということが広域通信制を選択する生徒が増えた理由なので

はないかと感じております。

- 山里委員 選択肢が増えるのは生徒の立場になって考えるとよいことだと思いますし、広域通信制も特色を出して人材を集めているということですが、ニーズに対して特色のある学科等を設置して生徒を受け入れているということは、逆に言うと県立高校の中にそのようなニーズに応えるような専門的なコースがないということだと思います。広域通信制が悪いということではなく、生徒のニーズが多様化していく中で県立高校もそのニーズを拾い上げていくという努力が必要なので、広域通信制についてこれからも注視して行ってほしいと思います。
- 県立学校教育課長 泊高校や宜野湾高校の通信制も定員割れが生じているので、広域通信制のやり方も参考にしながら検討していきたいと思います。

報告事項3 重要無形文化財の指定及び、保持者の認定（各個認定）について

【説明（文化財課長）】

資料に基づき、重要無形文化財の指定及び、保持者の認定（各個認定）について報告を行った。

【質疑等】

- 山里委員 琉球舞踊が各個認定を受けたということで、嬉しく思っています。14ページの一覧に記載されている芸能の分野で人間国宝に認定された方々は、無形文化財の性質が影響するかもしれませんが、ずっと男性が認定されており、今回女性が2名認定されたことは、この点もよかったと思っています。保持団体の中には女性も多くいると思うが、個人として人間国宝に認定されることは名誉なことであるし、女性も励みになるのではないかと思います。
- 藏根委員 私も山里委員同様に嬉しく思いますし、女性が認定されたということも嬉しく思います。人間国宝に認定された方が亡くなられたら指定解除と記載されているが、解除後は人間国宝としての意義はどのようになるのか。
- 文化財課長 有形文化財であれば存在する限り指定が続くことになりますが、無形文化財であれば人間国宝に認定された方が亡くなった場合、その方が体現していた技術もなくなってしまうため解除となります。亡くなった方のうち一人は叙勲を受けたと聞いています。その分野の後に続く方々が技術を高めていけば、あらためて人間国宝に認定されることもあり得ますが、例えば琉球陶器などでその後指定を受けたということは現状ではありません。
- 藏根委員 亡くなくてもその認定が続くシステムがあればいいと思います。
- 照屋委員 私も琉球舞踊が人間国宝に認定されたことを嬉しく思います。沖縄は芸能文化が盛んな地域ですが、亡くなった方も合わせて人間国宝に15名が認定されたと

というのは、他府県と比較すると多い方でしょうか。

- 文化財課長 比較資料を持ち合わせていないので、調べて報告します。
- 上原委員 各委員から喜びと県民の誇りという趣旨の発言があり、私もそのとおりだと感じています。この2名を含めて人間国宝の方々がいて、最近ではユネスコの世界自然遺産にも登録され、文化・自然に対する県民意識の高まりが出てくるのではないかと感じっていますが、今後の県民に対する普及・啓発等の計画の一端を教えてください。
- 文化財課長 この方々が人間国宝に認定されると我々が聞いたのも報道の少し前でありまして、今後の計画はまだ白紙ではありますが、これまでも重要無形文化財ごとに伝承者育成事業をこれまで行ってきており、これを継続して技術を絶やさないように取り組んでいきたいと考えております。
- 上原委員 次の時代を生きる子ども達が、誇りをもって活躍することが大事ですので、このような誇りを繋いでいく人材に育っていくように、学校全体で祝福しながら繋げていく取組みをやってもらいたい。
- 文化財課長 現状においても、児童生徒に対して組踊や琉球舞踊などの伝統芸能を鑑賞する取組みを行っていますが、最初は言葉を理解することも難しいため、理解するための事前学習など伝統芸能に親しんでいく取組みを継続していきたいと考えております。
- 上原委員 コロナ禍で難しい状況にあると思うが、県民に伝える方法をみんなで考えながら工夫して頑張ってもらいたいと思います。

(6) 議案審議

議案第1号 沖縄県立高等学校管理規則の一部を改正する規則について

【説明（県立学校教育課長）】

資料に基づき、沖縄県立高等学校管理規則の一部を改正する規則について報告を行った。

【質疑等】

- 照屋委員 名護商工高校と南部商業高校の学科改編について、例えば名護商工高校では建設業関係の業界団体、南部商業高校では観光産業の業界団体と意見交換を行い、各団体が求める人材を踏まえて学科改編が検討された等、関係団体との意見交換は行われているのでしょうか。
- 県立学校教育課長 名護商工高校については、かねてより沖縄県建設業協会から建築科を全県的に拡充してほしいという要請を受けていましたが、名護商工高校の建築科

が特に今回の入試で 1.58 倍という高い倍率となっており、生徒のニーズと業界の要請が一致したため、名護商工高校の建築コースを建築科に変更して対応することとしております。他の地区においても、建築科については拡充に向けて定数関連の課題を踏まえて検討したいと考えております。南部商業高校は八重瀬町にあって、近年スポーツツーリズムによる選手や観光客の受け入れが注目されていることもあり、中学校の生徒や保護者等のアンケートによると観光関連のニーズがあったため、南部商業高校から要請が出ております。近年島尻地区では生徒数の減少に伴う定員割れの状況もあり、学校の魅力を向上させるという学科改編になっております。

- 山里委員 ニーズや現状を踏まえた学科改編についてはよいと思います。意見として、電建は日常会話ではあまり使わない言葉であり、これまであった電建システム科についてもどのような学科なのかよくわからない。また、南部商業高校のOA経理科はオフィス・オートメーションの略語だと思いますが、OAという言葉はかつてよく使われていたが、現在はあまり使われなくなっている。このような名称は、時代に合った言葉や耳で聞いて目で見て子ども達がわかりやすい学科名にするということが大切なので、電建システム科を建築科に変更し、OA経理科をオフィスクリエイト科に変更することでわかりやすくなった。子ども達にわかりやすい科名になっているか、今の社会で使われている言葉を踏まえて、学科再編がなくても名称変更だけすることも積極的に検討してほしいと思います。
- 上原委員 資料 17 ページの 2、改正の経緯及び必要性の中で、(2) 名護商工高校と (3) 南部商業高校についてはニーズ等のデータを踏まえた改正だと思うが、(1) の辺土名高校は自然環境で学ぶという内面の目的意識での改正となっています。この学科で学んだ生徒の進路はどのような方向性を考えているか。もう一点は宮古高校について、理数科の 6 割が文系の大学に進学しており、文系と想定される普通科も踏まえての改正だと思います。新学習指導要領の中では総合的な学習から総合的な探究に変わり、探究という言葉は大きな意味を持つが、改正する文理探究科という名称はこの学科だけが探究を行っていくという印象を受ける。しかし、新学習指導要領では高校教育全体に探究が求められているので、学校全体で探究を行っていくこととなるが、この点についても説明してほしい。
- 県立学校教育課長 辺土名高校の環境科については、地域の資源を学習し自然環境に関する進路に進んでほしいと考えておりますが、進路状況はなかなかそのようになっておらず、数名のみがその分野に進んでいきます。環境科という名称は漠然としていて、大きく環境科と言っても自然災害やエコなどいろいろな分野が存在するため学科名を明確化する必要があり、入学後に子ども達がミスマッチを起こさないように、学校で行っている教育活動内容を反映する名称に改正する必要があるという考えから改正することとしております。宮古高校については、地域の進学校としてのニーズに応えるために理数科を 2 クラス設置しておりますが、どの学校にも共通することとして、理数科の生徒の半分以上が文系に進んでいるという現状があります。以前に開邦高校の理数科がこのような状況を踏まえて、英語科と合わせて学術探究科に名称変更

したことがあり、このように変更することで文系の生徒が数学Ⅲまで学ぶ必要がなくなり、2年生に上がる際に文系に対応した教育課程を選択することで、文系生徒の進学を柔軟に支援することができるようになりました。委員が言われたとおり、新学習指導要領の中で探究が特色として設定されておりますが、実態に応じた教育課程を提供したいという考えからこのように改正することとしております。

- 上原委員 辺土名高校については、本島北部及び西表島が世界自然遺産に登録されたこととの関連性がよくわかるが、3年後には進学に加えて就職の選択肢も出てくる。その際、やんばるや西表の自然環境について学んだことが活かせる仕事があるということ、教師が教える場合と自分で考えさせる場合とで状況が異なってくる。これを踏まえて、地域の方々や企業とも相談しながら準備をしていくことが重要になると感じます。宮古高校については、新学習指導要領に基づく探究の方向性と文理探究科の目標や魅力を整理すると、普通科においても行われる探究との違いが明確になりメリハリがついてよいのではないかと感じます。

【採択の結果】

全会一致により、原案のとおり可決された。

議案第2号 沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について

【説明（県立学校教育課長）】

資料に基づき、沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について報告を行った。

【質疑等】

- 上原委員 南風原高校の郷土文化コースについては、通学区域を全県区にして県内全域から募集した方がよいと感じます。そうすることにより、先ほど文化財課から報告のあった人間国宝の方々を計画的に授業で活用し高めていくことに繋がる。本県は特色ある地域なので、高校進学において希望者がいるのであれば、県内全域から生徒を募り技術を高めていってほしい。今後のことも見据えて大いに推進してほしいと思います。
- 照屋委員 これまでも全県区だと思っていたが、島尻学区だったのですね。南風原高校郷土文化芸能部の発表を毎年見に行っていますが、照喜名朝一先生など人間国宝の先生方も関わっておられて、レベルの高い生徒が育成されていると感心しています。卒業生も沖縄県立芸術大学に進学するなど、若手の芸能文化を牽引していく人材として育成されていると感じていますので、全県区でそのような人材を広く募集し、沖縄郷土芸能文化を牽引する人材を多く輩出してほしいと思います。

【採択の結果】

全会一致により、原案のとおり可決された。

議案第3号 学校職員の人事について（非公開）

議案第4号 学校職員の人事について（非公開）

議案第5号 学校職員の人事について（非公開）

(7) その他

特になし

(8) 閉会

金城教育長が閉会を宣言した。

